

関係各位

福山ばら祭「笑コ笑コもったいない部会」は 2011 年度の企画を取り下げることになりました

2011 年 2 月 15 日（火）

笑コ笑コもったいない部会

部会長 坂田 光永

日頃から私たち「笑コ笑コもったいない部会」の活動にご理解・ご支援をいただき、ありがとうございます。

このたび、当部会は、「福山ばら祭 2011」に向けて提出していたすべての企画を取り下げさせていただくことになりました。関係各位に多大なご迷惑をおかけすることを、心よりお詫び致します。

これまでの活動の概要と、企画取り下げの経緯を、簡単にご説明申し上げます。

1. 笑コ笑コもったいない部会誕生の経緯

2005 年、福山祭委員会企画実行委員長の上田晋介氏（当時）の「ばら祭のごみを何とかしたい」「中学生をボランティアとして参加させたい」という要請で、市民団体「ごみ 5R 推進本舗」を実施母体として、福山ばら祭の「笑コ笑コもったいないプロジェクト」がスタートしました。翌 2006 年には「笑コ笑コもったいない部会」として“昇格”し、企画実行委員会を構成する一員として参画させていただくことになりました。

2. 活動の概略

笑コ笑コもったいないプロジェクトは、「笑顔でごみゼロ」を合言葉に、福山ばら祭のごみをゼロにするための取り組みをおこなってきました。具体的には、ごみゼロ、すなわちごみの減量と全量リサイクルを実現するための態勢として、下記の「部隊」を組織しました。

- アースレンジャー隊 … 戦隊ヒーローの衣装で、分別、ごみゼロへの協力を呼びかける
- クリーンパトロール隊 … 会場を巡回し、ごみ拾い、分別ステーションのごみ回収を行う
- 分別ナビゲーター隊 … 分別ステーションを管理・運営する、来場者に分別方法を案内する
- 洗い隊 … 洗って再資源化できるプラスチック（飲料カップなど）を洗浄する
- 生ごみ堆肥隊 … 生ごみを堆肥化する
- 集積所 … 回収したごみの管理をする

これらの活動は、中学生を初めとするボランティアが担いました。2010 年度は 2 日間でのべ 1000 人近く of ボランティアが笑コ笑コもったいないプロジェクトに参加してくださいました。

このほか、デポジットカップ（使い捨てにしない飲料カップ）の利用促進や、笑コ得抽選、グループ単位でエコボランティアに参加する「笑コ援隊」など、様々な取り組みをおこなってきました。また 2010 年には、新たに「エコでえ〜こと実行委員会」が部会に加わり、ごみ 5R 推進本舗と連携してプロジェクトを実施するようになりました。

これにより、2004 年に 20 トンあったごみが、2005 年に 3 トン、2006 年にはゼロになりました。この取り組みが評価され、2007 年末には「環境大臣賞奨励賞」を受賞しました。

この「笑コ笑コ」のシステムを可能にしたのが、次に紹介する「P&P トレイ」でした。

3. P&P トレイの特性

福山ばら祭のようなイベントで出るごみの大半を占めるのが、ラーメンやカレーライスなどの容器です。これは燃やすと大量の CO2 を排出し、洗うと膨大な水道水を使います。

この問題を解決に導いたのが、ヨコタ東北（山形県）が生産する「P&P トレイ」でした。これは、トレイの食品が触れた表面部分が「はがせる」しくみになっており、はがした表面のシート（重量にして

数%)のみを可燃ごみにし、トレイ本体はそのままマテリアル・リサイクルできるという“優れもの”でした。他社製品と比較・検討した上で、2005年にP&Pトレイの導入を決定しました。

P&Pトレイにより、CO2の削減、洗浄水的大幅抑制だけでなく、ボランティアの作業の軽減にもつながりました。

なお導入当時、地元企業も訪問し、P&Pトレイと同等の性能を持ったトレイを開発できないか要請しましたが、それは不可能であるというお答えをいただいています。

その後、福山ばら祭でのP&Pトレイの導入とごみゼロのインパクトは、またたく間に県内各地のイベントに波及しました。松永ゲタリンピック、尾道みなと祭、三原やっさ祭、東広島の西条酒まつりなどから視察や人材交流の要請が相次ぎ、福山ばら祭と同様、P&Pトレイの導入が進んでいます。

4. 地元企業製のトレイの導入と、それに対する見解

しかし、福山ばら祭2011に向けた準備が進む最中の2011年2月、福山ばら祭におけるP&Pトレイの使用をやめ、地元企業の生産するトレイを導入することが決定されました。

私たちは終始、この方針に反対していました。理由は次の通りです。

(1)「はがせないトレイ」は洗浄しなければリサイクルできないが、水使用量と作業量が大幅に増加する

地元企業製トレイは「はがせないトレイ」であり、これを「トレイ to トレイ」のリサイクル工程に載せるためには、どうしても洗浄・乾燥しなければいけません。このたびは「トレイをすべて洗う」という方針のもとで導入されるようですが、そのためには大量の水道水を使用すると同時に、作業量の大幅な増加につながります。

(2)部会の自主性が損なわれ、「市民の祭」という精神が揺らぐ

福山ばら祭は「市民の祭」を掲げ、各部会は市民団体等で構成され、無償のボランティアで運営されています。そのため、基本的には部会の自主性が尊重されており、どのようなトレイを使用するかは部会の意向が優先されてしかるべきだと考えます。笑コ笑コもったいない部会としてトレイの変更を求めたことは一度もありません。部会の意向とは別の次元で議論が進んでいくのであれば、部会の自主性が損なわれ、「市民の祭」という精神が揺らぐことになりはしないでしょうか。

(3)ごみ5R推進本舗がこれまで築き上げてきた理念・実績・信頼関係が大きく損なわれる

部会を構成する「ごみ5R推進本舗」は、福山ばら祭での理念と実績をもとに、全県的なイベントごみ削減に取り組んできました。各地で人材交流を行い、信頼関係も築いてきました。しかし、地元の福山ばら祭がその方向性を転換するとなれば、ごみ5R推進本舗の理念・実績・信頼関係が大きく損なわれる事態となります。そのような事態にも関わらず継続して協力することは不可能です。

5. 今後について

これまで6年間にわたり福山ばら祭に参加させていただき、貴重な経験を積ませていただきました。このような事態になったことは非常に残念であり、痛恨の極みですが、それは私たちの説明能力の不足にも原因があり、その点は深く反省するものであります。

今後は祭におけるトレイ洗浄と「ごみゼロ」の取り組みの行方を見守るとともに、一年をかけて企画を練り直し、2012年度に向けての準備をおこなっていきたいと思います。

福山ばら祭2011の成功を心よりお祈りするとともに、今後とも皆様のご理解、ご協力をたまわりますよう宜しくお願い申し上げます。

<笑コ笑コもったいない部会のこれまでの実績>

- ボランティア数 … 約3600人(2005年～2010年、延べ人数)
- リサイクル量 … 1万8869.8kg(2005～2010年)
- ごみゼロ … 5年連続達成(2006年～2010年)

※この件についてのお問い合わせは、坂田(090-9115-3317)までお願い致します。